



黒鉛電極メーカー-SGL GE 米国子会社の株式取得について

2017年9月28日

東海カーボン株式会社
代表取締役社長 長坂一

案件概要

買収対象

ドイツに本社を置く炭素製品メーカーSGL Carbon SEの
黒鉛電極事業における米国子会社
(SGL GE Carbon Holding LLC)

取得価額

129億円*

資金調達手法

手許現預金及び銀行からの借入を予定

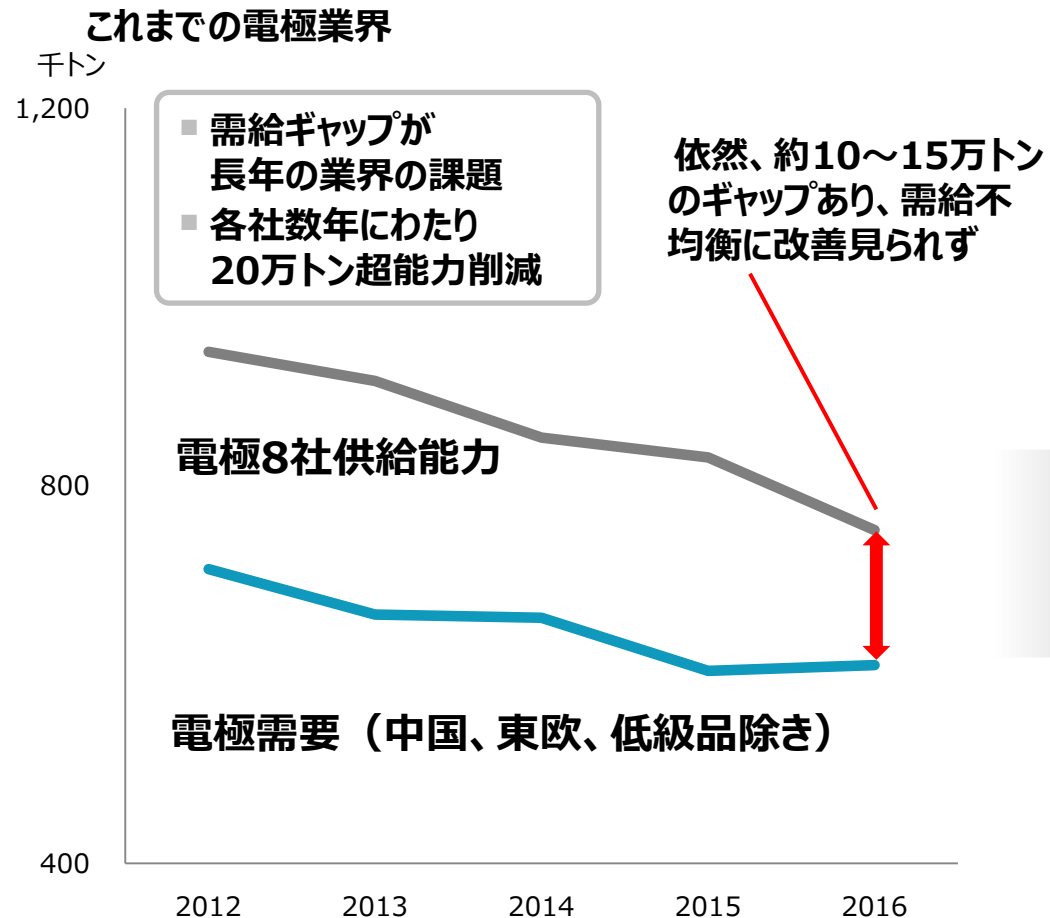
*1ドル110円で計算しております。また、実際の取得価額は契約に定める株式取得実行時の価格調整を実施した金額となる予定です

SGL GE Carbon Holding LLCの概要

会社名	SGL GE Carbon Holding LLC
設立	2016年2月
生産拠点	Hickman (ケンタッキー州) : 上工程 (成形～焼成) Ozark (アーカンソー州) : 下工程 (焼成～加工) - 生産能力 : 両工場で30千トン/年
売上高	80.8百万米ドル (2016年12月期 / 子会社合算ベース)
従業員	約140名
事業概要	黒鉛電極の製造・販売・研究開発

本件の背景

- 業界再編の流れで、昭和電工はSGL GE社買収するも、米国において競争法上の懸念あり
- 事前の生産能力最適化・コスト削減により業界再編への備え前進。さらに米国拠点獲得により「グローバル3極体制」「生産能力の最適化」で飛躍を目指す



足元の業界再編

- 昭和電工がSGL GE社買収
- 但し、競争法上、米国事業が懸念

売却

米国拠点

当社

- 事前の能力最適化・コスト削減に注力し、業界再編への備えは前進した一方で、本件なしでは「生産能力におけるプレゼンス低下」「北米市場での生産・販売一貫体制の未構築」が課題

買収

本件の狙い

1 グローバル3極体制の構築

2 世界最大の電炉鋼市場の獲得

3 生産能力最適化・品質向上

1 グローバル3極体制の構築

- 当社は、本件を通じて3極体制が構築可能
- 本件により、グローバルトッププレーヤーとしての地位を確立

- 主な黒鉛電極プレーヤーの拠点状況と生産能力 (本件後)*

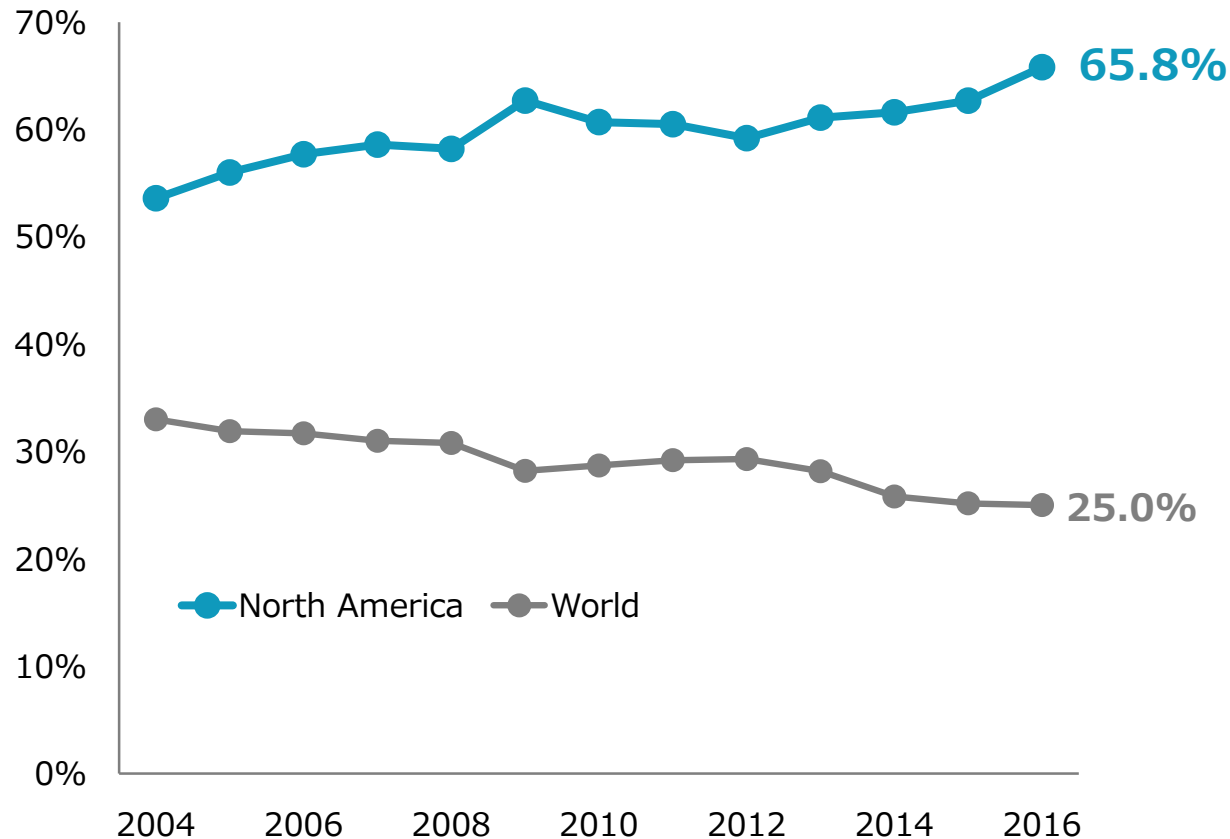
会社名	拠点状況			生産能力	
	北米	欧州	アジア	工場数	年産能力 (千トン)
昭和電工	○	○	○	8	259
東海カーボン+SGL GE (米国)	×→○	○	○	3→5	66→96
Graftech International	○	○	×	4	191
Graphite India	×	○	○	4	98
HEG	×	×	○	1	80
日本カーボン	×	×	○	1	30
SECカーボン	×	×	○	1	30

*生産能力及び拠点状況については本件のクロージングを前提としており、生産能力については弊社推定値かつ既存の生産能力を単純合算したものととなります

2 世界最大の電炉鋼市場の獲得

- 北米は電炉鋼比率65%超の世界最大の電炉鋼生産を誇る最重要市場
- 当社輸出販売の4割強を北米マーケットに依存しており、北米マーケットの生産・販売体制確立は長年の課題であった

■ 北米の電炉鋼比率推移

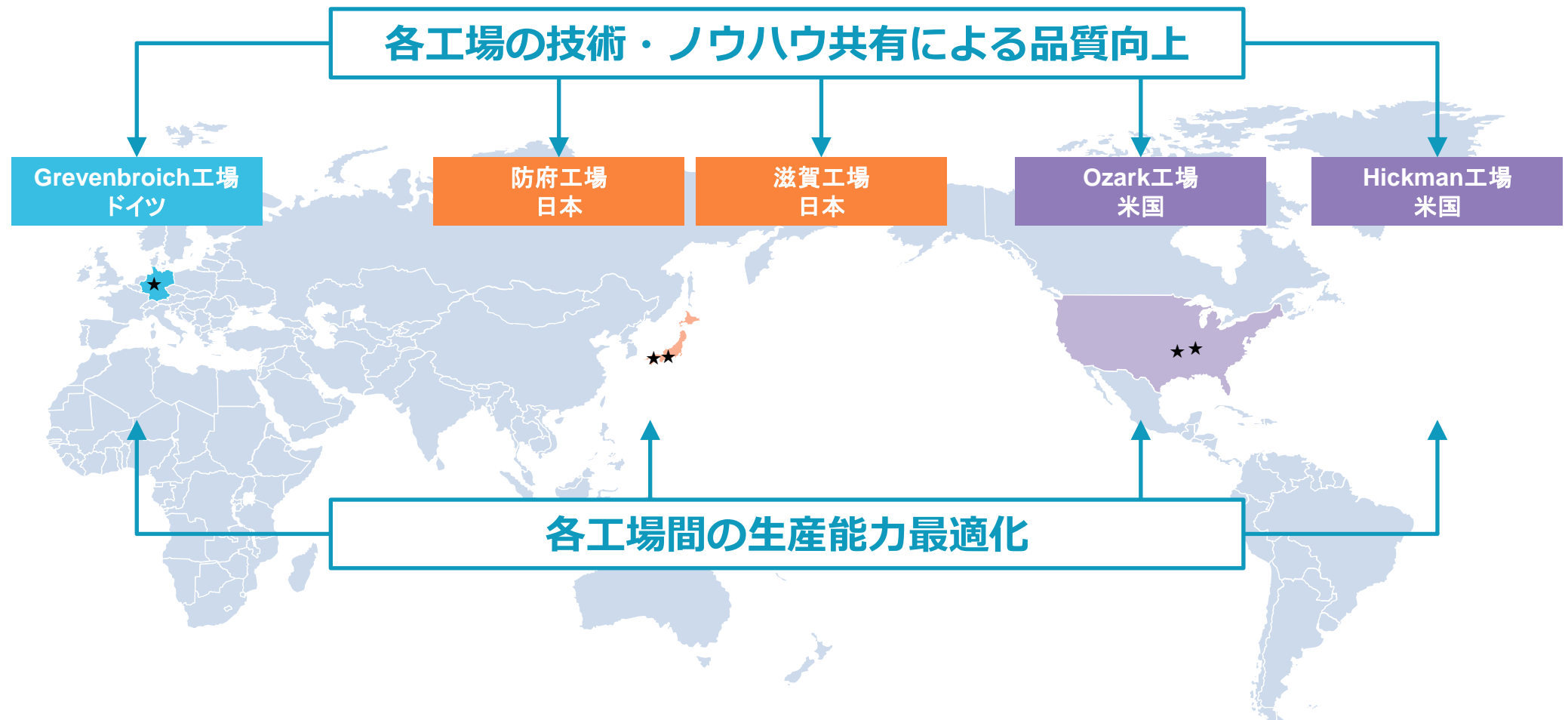


- 高炉はレガシーコスト等もあり、コスト面では電炉優位継続
- 米国政府によるインフラ投資意欲もバックアップ

北米の電炉鋼市場は
今後も堅調に推移する見込み

3 生産能力最適化・品質向上

- SGL技術と当社が持つ技術のシナジー効果により品質向上とコスト削減が実現
- 電極事業再編の流れの中で、グループ生産能力の最適配置が可能に



今後のスケジュール・業績への影響

日程

- 取締役会決議日：2017年9月28日
 - 契約締結日：2017年10月2日見込み
 - 株式取得完了日：2017年11月上旬見込み
- * なお、本件は米国当局の審査を経て、公表しております

業績への影響

- 2017年12月期連結業績に与える影響については軽微と考えておりますが、今後精査を行い、業績予想の修正等、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします
- 2018年12月期連結業績に与える影響は、2017年12月期の決算短信公表日に当該業績予想に織り込み開示する予定です

将来の見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本件に関する連絡先
経営企画室 初鹿野 TEL 03-3746-5228